

令和3年度 林業普及週間現地情報 (3/22～3/25)

森林管理課

民間事業者による島産材事業者の視察

3月23日(水)

令和4年3月23日、宮古島島内で新たに店舗開店を予定している民間事業者が、島産材事業者の視察を実施し、それに同行したので下記のとおり報告する。

今回視察を行ったのは全国で雑貨店を展開する民間事業者で、那覇の店舗で宮古島産イヌマキや宮古の森林・林業のPRを行っていただいている。この繋がりから、宮古島の店舗でのPRも視野に、視察を行う運びとなった。視察した島産材事業者は、三線や家具等の木工を行う事業者で、島内で数少ない木材関係事業者である。視察では、島産材事業者の代表から島産材の特徴や活用状況の説明があり、今後の可能性について熱心に話されていた。また、地元の方の認知が低く、普及活動が必要なことも話されていた。民間事業者としては、地元密着で様々な産業興しを検討しており、島産材のPRや島産材製品の取扱いを前向きに検討されているようであった。

宮古の森林・林業・木材産業の発展に向けては、行政からのアプローチに加え、民間事業者にもご協力をいただき、普及PRすることが重要と考える。林業普及指導員としては、こうした方々への説明や島内事業者とのマッチング等を積極的に行い、多くの関係者で島産材を盛り上げていく機運を高めていけるよう、今後も活動を行っていききたい。



視察の様子

(報告者：宮古農林水産振興センター 古井)